

…政府の回答

原材料は確保
できている

本当に!?

ナフサの供給不足によってポテトチップスの袋が白黒になるなど、
日々の暮らしにも様々な影響が連日、報道されています。
建設業においても、その影響は計りしれません。

政府はナフサについて「当面の量は確保できている」としています。

しかし現実には、シンナー系の塗料やシーリングテープ、塩ビ管など、様々な建設資材が手に入らない、
もしくは大幅な高騰で仕事はあっても受注できない、見積も取れない、収入が得られないといった悪循環が発生しています。

政府の主張は… 足りている

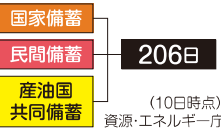
佐藤
官房副長官

(印刷用インク・ナフサについて)
日本全体として
必要な量が確保されている

高市
総理

5月は第3弾の**備蓄放出なし**

石油備蓄



中東以外からの 代替調達



企業側は… 足りていない

全国建設業協会

建設資材の供給不足・遅延で
工事の中止や遅延が避けられない状況
→**要望書を政府へ提出**

フソー化成 (高知県の印刷会社)

- 来月分の「**溶剤**」確保
→ **見通し立たず**
- 新規受注 **停止**

白黒パッケージ
とかになると
業界の存続が…

丁野社長

ナフサ不足で…

国内
製造業

4万6741社 **「調達リスク」の可能性**

帝国データバンク

東京土建組合では仲間自身の窮状の訴えと新たな支援制度の創設を求めて、4月28日に東京都議会へ、また5月8日には経産省、財務省、厚労省に対して**要請行動**を行ってきました。その模様は右記の二次元コードから視聴できます。併せて、経済産業大臣に宛てた**「緊急の署名行動」**にも取り組みます(右記の二次元コードからダウンロード)。署名後は所属の支部までご提出ください(締切:6月25日まで)。一緒に、支援を訴えていきましょう!

要請行動の
動画



緊急署名の
ダウンロード



地域の自治体に緊急の要請! 全都の市区町でも動きが!

- 1 **中野区**: 「中東情勢対応資金」を6月1日に新設
融資に必要な利子を区が肩代わり。信用保証料も全額負担
- 2 **品川区**: 電気・ガス代補助の方針(世帯ごと月1,000円、
6~9月支給)
- 3 **小平市**: 「令和8年度小平市事業者物価高騰応援金」

- 4 **羽村市**: 「事業者物価高騰緊急対策助成金」
市内の法人事業主に10万円、個人事業主に3万円を助成。
上下水道料減免も実施
- 5 **瑞穂町**: 「食料品等物価高騰対策家計応援金」「中小企業
者等物価高騰臨時対策補助金」
- 6 **青梅市、あきる野市、日の出町**でも事業者支援を実施
- 7 **豊島区**: 「としま賃上げ促進支援金」
基本給3%以上引き上げた中小企業に従業員1人あたり5万
円を支給(上限50万円)

5月23日(土)に放送されたTBS『報道特集』では、リフォーム現場の停止、やむなくフードデリバリーで食いつながざるを得ない一人親方など、資材不足・資材高騰に振り回されている**建設業界にフォーカスした特集番組**が放送されました。6月下旬頃までの期間限定の配信となります。お早めに、一度、ご覧下さい。



第三次担い手3法の 全面施行で

CCUSレベル別年収

—「標準値」が建設業法上の指導等にも結びつく基準になりました—

CCUSレベル別年収の概要 (令和7年12月改定)

- 建設キャリアアップシステム(CCUS)の能力評価に応じた賃金の実態を踏まえ、公共工事設計労務単価が賃金として支払われた場合に考えられるレベル別年収を算出
- レベル別年収の試算の公表を通じて、技能者の経験に応じた処遇と若い世代がキャリアパスの見通しを持てる産業を目指す
- 「目標値」と「標準値」の2つの水準の値を設定し、適正な賃金として目標値以上の支払いを推奨するとともに、標準値を下回る支払い状況の事業者については、請負契約において労務費ダンピングの恐れがないか重点的に確認する

	レベル1 (単位:万円) 標準値 ~ 目標値	レベル2 (単位:万円) 標準値 ~ 目標値	レベル3 (単位:万円) 標準値 ~ 目標値	レベル4 (単位:万円) 標準値 ~ 目標値
全 国	385~523以上	420~587以上	444~645以上	550~719以上
北 海 道	356~483以上	388~543以上	411~597以上	508~665以上
東 北	412~559以上	449~628以上	475~690以上	588~769以上
関 東	412~559以上	449~628以上	476~691以上	588~769以上
北 陸	391~532以上	427~597以上	452~657以上	559~732以上
中 部	408~555以上	446~623以上	472~685以上	584~763以上
近 畿	378~513以上	413~577以上	437~634以上	540~706以上
中 国	329~447以上	359~502以上	380~552以上	470~615以上
四 国	351~477以上	383~535以上	405~589以上	501~656以上
九州・沖縄	365~496以上	399~557以上	422~613以上	522~683以上
参考① 特殊作業員	404~544以上	443~612以上	449~662以上	569~744以上
参考② 普通作業員	342~462以上	375~519以上	381~562以上	483~631以上

学習会のお知らせ

資材価格高騰に対応する契約書学習会

中東情勢に伴う石油・ナフサ価格の変動によって、建築資材においても深刻な影響があり、今後の契約における材料費の変動が懸念されます。これまで通りの契約では、施工時点の材料費との乖離に耐えられない事態が生じます。書式の活用は工事の進行段階によって使いわけ、その内容を十分に理解した上で施主との契約を締結します。

①契約前の「おそれ通知」、②契約締結時の「合意書」、③契約後の「合意書」、それぞれの活用について学習します。WEBからでも参加できますので、詳細は所属の支部までお問い合わせください。

資材高騰に対応する 契約書学習会

(東京土建・東京都連共催)

【日時】 6月17日(水) 18:30~21:00

【会場】 けんせつプラザ東京5階会議室
(WEB併用会議)

【講師】 秋野卓生 弁護士
長谷部康幸(全建総連)

緊急告知!

中東情勢の影響で
資材高騰が顕著!

このままの契約では、工事赤字に陥る危険も!

契約変更をスムーズに行うための オンライン学習会

建設業向け 組合員限定

今こそ備える
資材高騰対策!

こんな方におすすめ!

- ☑ 工事途中の設計変更が不安
- ☑ 最新定価の調べ方がわからない
- ☑ 高騰による対応に悩んでいる
- ☑ 一人様お一人様お一人様お一人様
- ☑ 今後の契約リスクに備えたい

学習会の内容(予約)

- 中東情勢による建築費への影響
- 契約書・発注書で確認すべきポイント
- 材料費高騰の発生原因
- 契約変更・発注書の進め方
- 質疑応答 12分

オンライン参加で
自宅や会社から参加可能!

PC・タブレット
お持ち!

スマホからも
お持ち!

※個人アカウントでの参加も歓迎!

目 日 6月17日(水)
18:30~21:00 予定

開催方法 オンライン(Zoomb) + 会場併用

参加対象 組合員限定

参加費 無料 (個人様参加費は別途)

Zoomで
どこからでも
参加可能!

この学習会で得られること

- ☑ 契約変更の進め方が分かる!
- ☑ 最新定価の調べ方が分かる!
- ☑ 個人様参加費は別途!
- ☑ 個人様参加費は別途!

申込締切 6月12日(金)まで お申込みはお早めに!

お申込み・
お問い合わせ

TEL 03-3876-1966
MAIL taiyou@tokyo-doken.jp

東京土建 台東支部

組合員限定の研修学習会です
申し込むには会員登録が必要です
お申し込みは、東京支部まで
ぜひご連絡ください!